

テ 飛騨吉城特別支援学校に貢献 テントの寄贈式が行われました

5月9日（水曜日）飛騨吉城特別支援学校

飛騨市神岡町の株式会社ユアソフトは9日、飛騨吉城特別支援学校に折り畳み式のテントを寄贈しました。

この日は、同社の取締役管理部長の榎木仁さんが学校に訪問し、体育館では、児童生徒らの前で同校の名前が入ったテントが披露されたのち、鈴木肇子校長に贈られました。

寄贈式で榎木さんは「皆さんが楽しみにしている運動会で、テントを使っていたら頑張っていただければ嬉しく思います」とあいさつしました。



寄贈されたテントの前で記念撮影

文 受賞の喜びを市長に報告 文部科学大臣賞を受賞

5月1日（火曜日）市長室

NPO法人思い出の絵本展（北平修子理事長）が「文部科学大臣賞」を受賞し、その喜びを都竹市長に報告しました。

この賞は、文部科学省が国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるため、子どもが積極的に読書活動への意欲を高めるために優れた実践を行っている団体などを表彰するものです。

今年度は、学校136校、図書館47館、53団体が受賞し、4月23日の東京での授賞式では、飛騨市のNPO法人思い出の絵本展の活動が「子どもの読書活動優秀実践団体」として文部科学大臣賞を受賞しました。



賞状を手にする都竹市長と北平理事長（右から3人目）

玄 玄の子農地所有者が協議会設立 玄の子土地改良事業の着手準備

5月11日（金）市役所

市役所で11日、玄の子（是重地区）の農地所有者約70人が集まり、これから土地改良事業に着手していくための協議会設立総会が開かれました。

この協議会は、玄の子地区が昭和33年に土地改良事業を実施して以来、60年以上農地改善が行われておらず、農道や水路の改修、1区画あたり5アール未満の現在の田んぼの面積を約5倍にするなど、作業効率の改善を図り、農地を守っていくための事業を行います。

この事業は、今年度から事業計画策定のための調査が開始され、平成33年には工事着手、平成36年に全ての工程が完了の見通しです。



総会であいさつする関係者

さ 飛騨信用組合より寄付 さるぼぼコインの利用に係る寄付贈呈式

5月10日（木曜日）市役所

「さるぼぼコイン」の利用に係る寄付贈呈式が10日、市役所で行われました。

今回の寄付は、飛騨信用組合が昨年12月から3月までのさるぼぼコインチャージ額の0.15%相当額を飛騨市、高山市、白川村の地方公共団体や観光協会等に按分し寄付するもので、飛騨市は10万円、飛騨市観光協会は5万円を寄付していただきました。

式では、同組合の大原誠理事長や都竹市長、同協会の池田孝吉会長らが出席し、大原誠理事長から都竹市長へ目録を授与しました。



目録を手にする都竹市長と池田会長

シ 古川小学校でシバザクラを植えました シバザクラを植えて道沿いをきれいに

5月17日（木）市役所

古川小学校の3年生65人がシバザクラの苗を植えました。このシバザクラの苗は、(株)飛騨ゆい(清水和也社長)から古川小学校に提供されたもので、宮川町の飛騨まんが王国で育てているシバザクラで今年で3回目となりました。

この日は、提供されたシバザクラの苗170ポットを3年生が学校グラウンドの殿町側のフェンス周辺に植えました。清水さんは児童たちに「植物や動物を大事にする気持ちを養ってください」とお願いし、児童たちは「シバザクラをくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えました。



シバザクラ植えに夢中の児童

高 未来への夢を込めて 高野千本桜夢公園で記念植樹

5月12日（土）古川町高野 旧古川スキー場

高野千本桜夢公園整備委員会(岡田善徳代表)は、古川町高野地内の旧古川スキー場跡で記念植樹を行いました。

この千本桜夢公園は、高野地区の有志「高野森の子会」が平成13年からヤマザクラを植樹してきた公園で、昨年は同委員会が主体となり植樹を行い、現在では約300本の桜が咲き誇ります。

この日は、同委員会のメンバーや市内外からの2歳から80歳約50人が参加し、さくら植栽木の引き渡しセレモニーを行った後、高さ約4mのヤマザクラ30本を6グループに分かれて植樹しました。



植樹を行う参加者

全 市民の健康増進と医療費の適正化を図る 全国健康保険協会と連携協定を締結

5月18日（金曜日）市役所

市と全国健康保険協会（協会けんぽ）岐阜支部との間で、健康づくりに関する連携協定の締結式が18日、市役所で行われました。

この協定は、市と同協会が連携しながら各種検診や健康づくり事業に取り組むことで、市民全体の健康増進と医療費の適正化を図るものです。

式では、同協会の名知清仁支部長と都竹市長が出席し、調印が行われました。

都竹市長は、「今回の協定締結でお互いに力を合わせて、医療費の削減や健康寿命の延伸につなげていければと思います」とあいさつしました。



協定書を手にする名知支部長（左から3人目）

太 ウォーキングで太陽系の大きさを体感 太陽系めぐりウォーキングが行われました

5月12日（土）神岡町伏方地内

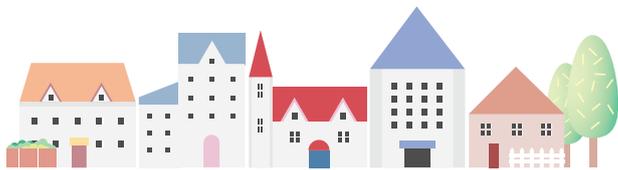
太陽系の大きさを体感するウォーキングイベント「太陽系めぐりウォーキング」が12日、神岡町伏方地内で行われ、スタート地点を太陽として太陽系の各惑星間の距離に見立てたウォーキングコース約4.5kmを歩きました。

この日は13人が参加し、飛騨流葉数河カントリーウォーク運営委員会の山口裕子さんと植物観察指導員の宮丸洋子さんがコースを案内しながら、群生する植物や天文に関するトピックスを紹介したり、山菜を収穫しながらコースを散策しました。

山口さんは「たくさん自然にふれられるウォーキングなので、市内の方だけでなく県外の方にも参加していただけるよう募集をしていきたい」と話していました。



ウォーキングに参加した皆さん



百歳おめでとうございます

齋藤せつさん百歳褒賞

5月22日(火) 古川町

古川町の齋藤せつさんが100歳を迎えられ、市民福祉部の袖原部長からお祝いと花束を受け取りました。

この日は、家族や入居している施設の方々が集まり、メッセージボードやくす玉割りなどで、齋藤さんの100歳をお祝いしました。

息子の齋藤年晴さんは「母のおかげで立派になれました。これからも長生きしてもらいたいです」と話してくれました。



花束を手に記念撮影

名所や歴史学び清掃活動

飛騨古川青年会議所が交流活動

5月19日(土) 古川町市街地

(一社)飛騨古川青年会議所は19日、地元の名所の歴史を学び清掃活動を行う「一期一会 ～そしゃ、一緒にうつくしょうせんかな～」を行いました。

この活動は、地元の名所の歴史や背景、役割などを学び、まちづくり活動の第一歩として、市内各種団体と行政が交流を深め名所をめぐるながらふるさとの魅力発掘や清掃活動を通じて交流することを目的として計画され、古川町と神岡町チームに分かれて団体関係者や行政職員ら計38人が参加。夢ふるさと案内人会長の森下純雄さんのガイドにより、まつり会館、瀬戸川、三嶋和ろうそく店などの名所をめぐるながら清掃活動を行いました。



まつり会館前で森下さんのガイドを聞く参加者

3 ローカル・イノベーション・キャンプin飛騨者で連携し鳥獣被害の解決策を考案

ローカル・イノベーション・キャンプin飛騨

5月27日(日) 河合町友雪館

楽天株式会社、東大GCL、飛騨市が連携し、新たな地域の課題を解決していく「ローカル・イノベーション・キャンプin HIDA (LIC)」が市内で行われ、社員、院生、職員ら20人が参加しました。

この事業は、楽天(株)と市で締結している連携協定の一環として行われ、野生鳥獣による農林業被害防止をテーマに、その解決策を3者で協力して考案し、実現に向けて活動を行います。

この日は、2日間で学んだ現地調査やグループワークで考案した解決策を発表しました。

今後、1年かけてそのアイデアを実現できる内容に改良し、東京大学で発表する計画です。



グループ発表を行う参加者

食 神岡小学校で田植え体験 味コンクールに向け田植え体験

神岡小学校で田植え体験

5月26日(金) 神岡町朝浦地内

神岡小学校5年生42人が神岡小学校近くの田んぼでコシヒカリの苗を植えました。

この田植えは、今年の11月に飛騨で開催される「第20回米・食味分析鑑定コンクール」に小学校部門として出品し、児童らに農業への関心と大切さを知ってもらおうと農業振興課が企画。稲刈り、収穫までの体験学習を行います。

この日は、田んぼを管理している東明枝さんが児童らに田植え作業について説明し、児童らは裸足になって田んぼに入り、約200平方メートルの田んぼに数株ずつ丁寧に植えていきました。



田んぼで手植えを行う児童